



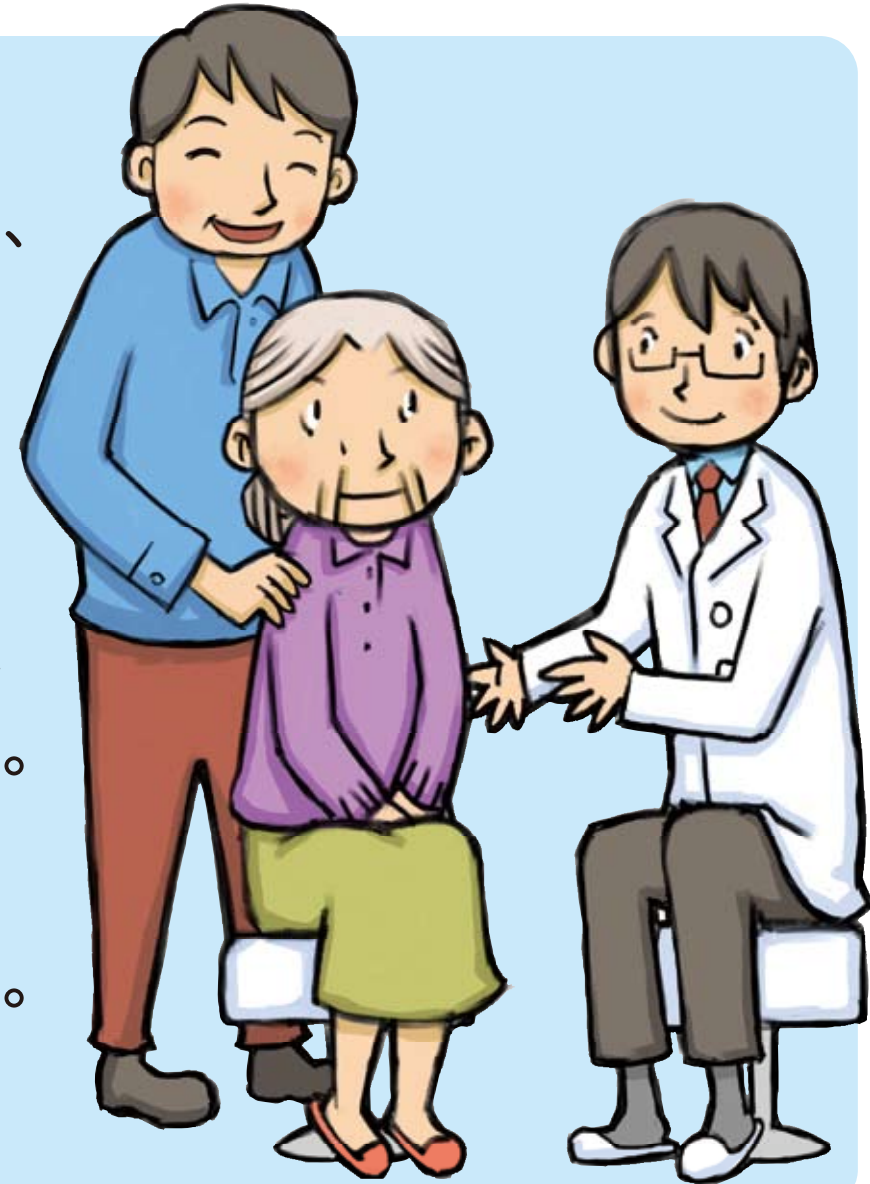
外に出かけることが 少なくなってしまった あなたへ

- 最近、外にでることがおっくうになっていませんか?家の中ばかりにいると骨や筋肉が弱くなります。もの忘れも進んでしまいます。
- 外に出て、できるだけ人と話をしましょう。頭の働きのリハビリになります。

～人とのつながりは大切に～

ご家族の方へ

- いままでよりも、出かけたがらなくなったり、おっくうがるようになったり、趣味や日課をしたがらなくなったりするときは、歳のせい以外にもいろいろな原因が考えられます。
- もし、身体がどこも悪くないようであれば、認知症やうつ病なども考えなければいけません。原因によって、治療法や接し方が異なります。
- できるだけ早く、適切な医療機関を訪れましょう。

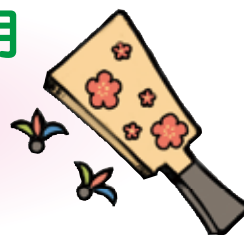




平成23年

1月

睦月



日

月

火

水

木

金

土

						1 <small>元旦</small>
2	3	4	5	6	7	8
9	10 <small>成人の日</small>	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 <hr style="border: 0; border-top: 1px solid red; width: 100%;"/>	24 <hr style="border: 0; border-top: 1px solid gray; width: 100%;"/>	25	26	27	28	29
30	31					

「幻視・幻聴を経験する」のは、なぜですか？

レビー小体型認知症は認知症の三大原因疾患の一つで、幻視が出現しやすい特徴があります。本人や家族に危険がない限り、無理に否定しないでできるだけ本人が安心できるようにしましょう。

その時の状態によって薬の内容も変わりますので、主治医と相談して下さい。レビー小体型認知症の人は、幻視、幻聴などに対するお薬で副作用が出現しやすいのも特徴です。効果があったときには、減量などの指示も受けることが大切です。また、急に立ち上がったりとすると血圧が下がり失神したり、転倒するという特徴もあります。混乱がひどいときは危険がないように見守ってください。



以前と比べてチェックリストのような変化が続くときは、すぐに最寄りの地域包括支援センター（地域によって名前が違います）や適切な医療機関に相談してみましょう。

もしかしたら認知症の初期かもしれません。でも心配はいりません。早く診断できれば、あなた自身や

ご家族が認知症についてきちんと理解する時間をもて、十分に対応できます。原因によっては治療法があります。

チェックリスト

- 同じことを何度も言うとか聞くと周りから言われることが多い
- いつも捜し物をしていることが多い
- 財布や通帳など大切なものがなくなる
- 約束を忘れてたり、待ち合わせの場所に行き着けなかった
- 片付けや料理、運転などが以前のようにうまくできなくなった
- テレビのドラマは筋を追うのが面倒くさい
- 身だしなみを整えることが億劫になり、構わなくなった
- 趣味や好きなことに関心がなくなった
- 何をするのも億劫になった